

～平成 30 年度 地区懇談会の振り返り～

地区懇談会は、魅力ある地域づくりを進めていくため、また、地域における様々な課題を解決するため、地域にお住まいの皆様自身が考え、話し合い、行政と情報交換を行う場として区内の各連合地区で開催しているものです。

平成30年度は6月12日から10月27日までの間に開催され、延べ700人の参加がありました。

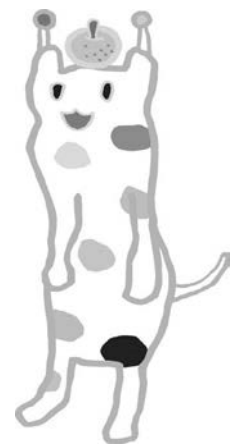
地区懇談会開催日程及び参加者数一覧

地区	日程	参加者(人)
戸塚第一	10月27日(土)	29
戸塚第二	8月26日(日)	14
戸塚第三	7月7日(土)	23
踊場	6月28日(木)	25
北汲沢	6月12日(火)	22
舞岡	8月19日(日)	52
川上	9月8日(土)	82
柏尾	7月14日(土)	71
東戸塚	8月25日(土)	30
平戸	7月21日(土)	28

地区	日程	参加者(人)
平戸平和台	7月1日(日)	38
上矢部	8月25日(土)	43
名瀬	8月25日(土)	28
大正	9月29日(土)	77
汲沢	8月25日(土)	44
上倉田	6月30日(土)	38
下倉田	7月22日(日)	33
吉田矢部	9月29日(土)	23
	参加合計人数(人)	700

地区懇談会テーマ別の概要(括弧内は平成29年度の数)

項目	地区数	テーマ数(件)
○ 防災・防犯関連	9(7)	16(13)
○ ハートプラン・福祉関連	8(10)	12(23)
○ 道路・交通関連	7(8)	19(15)
○ その他 ごみ・清掃・喫煙 5 施設等整備 4 その他 10	13(3)	19(5)
※ 区運営方針	7(6)	7(6)
	テーマ数合計(件)	73(62)



戸塚区のマスコット ウナシー

地区懇談会の概要

文中 ○：地域（発表、意見、質問） ◇：地域以外（テーマ説明、解説、回答）

戸塚第一地区

○ 地域のイベントに多くの方に参加してもらおう -戸塚第一地区ハートプランを知ろう-

(1) 地域イベントとハートプラン -上矢部地区の取組について-【上矢部地区地域連携チーム】

- 地区ハートプランの柱の一つは「顔の見える関係づくり」。各行事はその実践の場。阿久和川の清掃には小学生・親世代・祖父母世代も毎月参加。今年は10年ぶりに鮎の遡上が確認された。「すいとんdeかみやべ」ではイラスト入りチラシを作成し、学校で配布。昔遊びを組み込むことで3世代交流にもなった。何か変わったことを行うのではなくPRを充実し、また、役員が過度の負担にならぬようみんなで楽しむことを心掛けている。

(2) 地域イベントへの参加促進の取組

ア 他町内会の盆踊りへの参加事例【下郷町内会・賀寿団地自治会】

まずは「あいさつ運動」から取り組みを開始し、プランターを使った栽培活動でも顔の見える関係づくりを進めた。盆踊りは、賀寿団地自治会の方々にも参画してもらい、参加者も増え、運営面にもメリットがあった。また、小学生の作った絵燈籠を飾る企画は、3世代の交流にもつながった。盆踊りの効果は、地域防災拠点の訓練にも現れ、訓練当日だけでは生まれぬ他の町内会の方々との顔の見える関係が、円滑で効果のある拠点運営に繋がっている。

イ イベントの周知や参加者増への工夫について【青少年指導員連絡協議会】

地区ハートプランは、「あいさつ」「出会い」「参加」の3ステップで推進しています。地域活動を成功させるために、企画書の作成と参加者へのアプローチを大切にしています。企画書は事業目的を明確にし全員で共有することで、継続に繋がります。参加対象者を明確にし、チラシなどの媒体を工夫するとともにキーになる人からの口コミを大切にします。青少年指導員の事業では、参加メリットで子供の興味を喚起し、行事の安心と信頼で親が承認できるようにしています。

ウ 南戸塚地域ケアプラザ ふれあいポイント【南戸塚地域ケアプラザ】

健康づくり事業を継続的に取り組むためのツールとして取組を開始した「戸塚町ふれあいポイント事業」の概要を紹介。

(意見交換(出席者は4グループに分かれ、参加者増加策等について意見交換))

- Aグループ 各地イベントに共通するのは人材不足。このため、①イベントチームの結成、②アンケートの実施、③できることから楽しくやる、④近隣町内会にも声掛け、などの意見が出た。
- Bグループ イベントを開催し参加者を増やすために、①子供会の積極的活用、②日頃の挨拶が大切、③町が好きになる取組を考える、④若い世代が参加できる内容とする、などの意見が出た。
- Cグループ お互いに顔を知らないからイベントへの参加が少ない。そこで、①挨拶をし顔見知りとなろう、②口コミを大切にしよう、③他の町内会との協働で取り組む。などの意見が出た。
- Dグループ 会長の仕事を4人で分担することとしたら、若い人との交流も生まれた。挨拶は良好な人間関係の構築のみならず、防災訓練時の参加者増加にもつながった。などの意見が出た。

戸塚第二地区

1 自転車通行帯の設置について 2 バスセンター前交差点改善について

- ◇ 戸塚駅周辺は「横浜市自転車通行環境整備指針」の重点エリアです。実行計画では特に重要と思われる路線を選定し、交通管理者と協議を進めていきます。
戸塚駅西口第1地区の事業は完了しました。第3地区での事業は、道路のセットバック等の誘導による歩行者空間の確保が目的で、立体デッキ等の整備計画はありません。
- 長後街道の自転車通行帯設置について、進捗状況を教えて欲しい。
- ◇ 29年の3月に自転車通行環境整備指針ができ、重点エリアを定め、具体的な計画を検討・設定していきます。また、整備等はそれと連動させて、対応していくこととなります。
- 現在デッキから橋は「I字」。地域自体の活性化を考え「L字」を推したが、実現しなかった。何年先か分からなくても、具体的なビジョンを持って進めていただきたい。

3 民生委員による安否確認について

- ◇ ひとり暮らし高齢者の地域で見守り事業や、民生委員等事業の概要などを説明し、民生委員・児童委員活動の基本と具体的な活動を紹介しました。
- 民生委員がマンション内に入れないといった実態がある。集合住宅の管理会社に見守りを行う責任を持たせるように法整備はできないのか。
- ◇ 関係機関にご要望を伝えていきます。管理人が民生委員の代行をすることは厳しいと思うが、管理会社に民生委員の訪問に協力するよう働きかけ等は検討できる。

4 運動ができる屋外の広場と集会等ができる屋内建物が併設された施設の設置について

- ◇ 横浜市の広場や集会施設の設置基準、地区センターやコミュニティハウスなどの利用の考え方、地域活動拠点としての学校開放利用等について説明しました。
- 地域の意見は、子どもの遊び場が無く、イベント等はコミハ等の場所が取れなかったり、利用料が高すぎたりする点。バスセンター跡地利用を検討した時、子どもが集える施設を作って欲しいという意見が中心だった。
- ◇ 公園や地区センターの設置は今の基準では難しい。バスセンター跡地1階には「交流広場とつか」がオープン予定、どなたも自由に利用できる。

5 地域ケアプラザの設置について

- ◇ ケアプラザは戸塚区では全中学校区で整備済みです。市内未設置地域の整備を急務としており、区内の新規整備は困難です。要介護認定申請等は区役所でも対応可能です。
- 他の地域ケアプラザの行事等の案内は来ていない。情報を流して欲しい。

(意見交換等)

- 町内会加入率が減少している。加入の義務付け等、メリットが分かるようにして欲しい。
- ◇ 新築マンションには町内会の結成を働きかけ、実績も出ています。防災対策は町内会を通して話をしており、安心感につながっています。税制面のメリット出しは難しいが、加入率向上は、区も同じ思いです。
- 粗大ごみを放置が後を絶たない。特別な門をつけているが効果がない。
- ◇ 住民へのルール徹底や防犯カメラの設置等の自衛策はある。相談してください。

戸塚第三地区

1 報告事項(仮設駐輪場について)

- ◇ 戸塚駅西口駅前JR協仮設駐輪場の設置目的、工事の進捗、今後の予定について報告。
- 第10駐輪場の修繕は現状維持とのことだが、もっと高く、立体駐輪場にしてはどうか。
- ◇ 高くすると、基礎を大きくする必要があるのと、自転車が昇るのも大変になる。現状維持でご理解いただきたい。

2 ごみ収集の課題について

- ◇ ヨコハマ3R夢プラン推進計画素案概要等を説明し、高齢化とごみの排出問題の論点と参考データを提示。また、区内2地域における取組事例を紹介。
- フードバンク、フードドライブの収集方法の例、収集窓口等の照会先を聞きたい。
- ◇ イベント等で窓口を設置したり、町内会が独自に収集している例があります。戸塚区ではまだ正式な照会先はありませんが、インターネットで収集窓口等を検索できます。

3 戸塚駅西口周辺の安心・安全まちづくり

- ・ 戸塚西口第二バスセンター前、住宅展示場の残歩道拡幅工事の推進について
 - ◇ 拡幅工事未完了部分のセットバックを早期に実施いただけるよう希望を伝えています。
 - 道が広がって乳母車が交差できるようになった。何としても残りを進めて欲しい。
- ・ 駅周辺でのタバコの喫煙防止について
 - ◇ 本年3月の戸塚駅周辺喫煙禁止地区指定以降の経過について報告。
 - 上矢部トンネルは吸い殻多い。「歩きタバコは条例違反」という看板があってもよい。
- ・ 西口第二バスセンター付近の道路拡幅工事について
 - ◇ JRの横浜土木技術センターは重要な施設で、移転は難しいので拡幅は難しい。
 - 大船や保土ヶ谷に移動できないのか検討してほしい。
- ・ 東口から西口へのバス運行(一部)移動の後について
 - ◇ バス事業者、警察と協議中です。試走は3回実施したが、本格運行には至っていません。
- ・ JR西口から東口へのデッキの自転車利用者のマナー改善について
 - 看板が小さく1か所しかない。乗っている人が8・9割。エレベータにも表示を。
 - ◇ 表示の不具合は補修します。看板等増設の場所等は皆様の知恵をお借りしたい。
- ・ 地下乗車口へのエスカレーターを設置について
 - ◇ バリアフリーの考え方では経路が全く無いところの優先度が高くなります。
 - 難しいとは思いますが現場を見ながら検討して考えてほしい。
- ・ JR階段付近の車の停車の問題改善について
 - ◇ 交通規制は駐車禁止であり、停車している車が多くなっている。区役所1階にある交通広場の案内看板を複数掲示していますが、増設など工夫を検討していきます。
- ・ その他
 - 住人のいない家の樹木が出て困っている。窓口を教えてもらって相談に行きたい。
 - ◇ 空家の窓口は区政推進課。持ち主を調査して通知文を送っている。

踊場地区

1 平成30年度踊場地区懇談会のテーマ

踊場地区の未来を考える ～健康づくり～

「踊場地区の人々がいつも健康であって欲しい!」、「体を動かすイベント等を充実させていきたい」という2点を「めざすところ」と位置づけ、健康づくりをテーマに出席者全員で踊場地区の未来について意見交換しました。

2 出席者の意見

(1) こどもを対象としたもの

- 「体を動かすイベント×食」をセットにする。(既存の活動を合体させる)
- 子どもたち×地域の様々な世代の方と一緒に「地域探検」を開催。
- 公園の有効活用。魅力づくり。(ex. 健康器具の設置、休憩できる場所の設置)
- 子どもたちが、安心、安全に遊べる場所の確保。
- プロの選手×子どもの「走り方教室」の開催。
- 「階段」を使った健康づくりのイベント企画。
- ふるさとを感じることができる健康づくりのイベント企画。

(2) 一般を対象としたもの

- 高齢者が参加したいと思えるイベントの企画。(1mのパン食い競争)
- 各町内会で楽しめる要素を入れた散歩やストレッチの開催。
- 目的に応じたマップの作成。(ex. 散歩マップ、公園マップ、石碑マップ)
- 男性が参加しやすい畑作業等のイベントの企画。
- 子どもから大人まで参加できる場の企画。(ex. 健民ウォーキング)
- 病院や専門機関と連携した健康づくりのプログラムの実施。
- 各町内会ごとの「歩こう会」(グループの)立ち上げ。
- 「ワンワンパトロール」の活用。
- 健康づくりのイベントの講師を踊場地区在住の方に依頼する。
- 防災×地区の取組で体を動かす、地区を知る。(ex. 昼間の防犯パトロール)
- 散歩の休憩場所としてベンチの設置。
- 坂道×楽しめる場所(サロン)の設置。
- 跡地を活用した家庭菜園の実施。

3 まとめ

☆ 踊場の特徴(坂道の地形)を生かしたイベントの企画をしよう!

☆ 既存の活動に健康づくりの要素を加え、さらに楽しいイベントに発展させよう!

北汲沢地区

1 平成30年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

2 連合独自の3つの統一活動(防災・防犯・清掃)

- 北汲沢各町内会年間行事一覧により、3つの統一活動の情報を共有。

3 ハートプラン地区別計画の具体的推進策第2弾内容

- 昨年度の「活動のパネル」30枚に加え、今年度は60枚のパネルを作成。広報・防災活動の強化を図るなど、安心安全の地域づくりを目指します。

4 公益社団法人北汲沢地域総合福祉活動委員会の事業活動内容パンフレット改訂版の紹介

- パンフレットは2,000世帯に配布しています。法人の公益事業比率は87.19%でした。事業実績としても、平成29年度は外出支援の回数は2,029回あり、12名で運営しています。このほかに樹木剪定などの日常支援も行っています。

5 地域の健康づくり、ひとり暮らし高齢者対策、まちづくりプラン経過

(1) 安心カードで地域の一人暮らし推進策

- 地区独自の取り組みで複写式の安心カードを作成し高齢者世帯に配布。緊急時の連絡先や日頃の健康状態などを記入してもらい玄関に置いてもらうようにしています。

(2) クローバースポーツクラブによる汲沢地域住民の健康づくり

- 11年目を迎えた活動は総合型地域スポーツクラブの活動として横浜市有数の規模。現在13種目の活動が行われ、健康体操が最多。昨年度は卓球ブームにより卓球の参加者が増えました。60代70代女性の参加が多く、元気な世代であることが伺えます。今後も「健康づくり」「仲間づくり」「まちづくり」をスローガンに参加を呼び掛けていきます。

(3) 保健活動推進委員会の多彩な健康づくり活動

- 連合や民生委員の催しの際に測定機器を持ち込んで各種健康測定を行い、特に若いお母さん向けに定期的な健康診断の受診を啓発しています。また、保健活動推進員独自の熱中症対策のチラシを作成し、啓発活動を行っています。

- ◇ まちづくりプランのこれまでの経過を紹介。

- ◇ 家庭用火災報知器、熱中症予防、住宅防火アドバイスについて解説。

(意見交換等)

- 警報機は鳴れば大丈夫と地域で話をしたが、それでよいか。また価格は。

- ◇ センサーの劣化で10年が交換の目安です。一人暮らし高齢者には消防職員が取付けをお手伝いする制度があります。本体価格はネット販売で2個で約4,000円がありました。

- 高齢者夫婦の粗大ゴミの出し方について、重いタンスなどは家の中から持ち出せないのでは何かできないものか。

- ◇ 資源循環局戸塚事務所にお電話でご相談ください。ただ、2階からの大きい家具の搬出等、出来かねる場合もあります。

舞岡地区

1 土砂災害ハザードマップに指定された危険地域の対応について

- ◇ 7月の豪雨災害を例に災害への心構え、「減災」に必要なこと、ハザードマップの活用、各種情報の意味、避難先や避難のタイミング、自助、共助、公助等について解説しました。

2 舞岡川ハグロトンボの保護地域について

- 環境大臣賞、国土交通大臣賞を受賞した舞岡中学校科学部生徒による舞岡川のハグロトンボ生態調査等の取組を紹介しました。
ハグロトンボは環境指標になる生き物であるとの見方から、小学校・高校等とも合同で生息数・縄張り行動を始め、下水道普及率・河川の水質変化など様々な項目を調査し、トンボの増加は下水道の普及により舞岡川に生息環境が回復した結果であることを解明しました。
- ハグロトンボの生息が地域の人に分かるように告知が必要。看板やチラシ、町内会の窓口などで分かれば、水辺愛護会も活動しやすい。
- 水辺愛護会の清掃活動とは連携していきたい。科学に関心のある子供たちを育て、先生や生徒が交流できる仕組みをつくっていきたい。

3 都市計画道路「下永谷大船線」「舞岡上郷線」の事業計画について

- ◇ 下永谷大船線の舞岡駅付近の未着手区間、舞岡上郷線の舞岡駅付近の未着手区間は、どちらも平成37年度頃の事業着手を目標としています。

4 二級河川舞岡川の改修整備計画の骨子と完成年度について

- ◇ 舞岡川親水広場のイメージ図や、舞岡川の整備状況・現在の工事現場画像等を提示し、整備計画・進捗・今後の予定などを報告しました。
- 現時点での図面をください。住民は中学校から駅までの散策路の完成を期待している。
- ◇ 図面自体は本日配布図面と変わっていないが、進捗が分かるものを用意します。

5 舞岡墓園整備事業の進捗と駅前周辺道路等の一体的関連整備について

- ◇ (仮称)舞岡町公園・(仮称)舞岡墓園の事業予定・車両経路・歩行者経路表等を提示し、計画の進捗、周辺道路の整備・対策などを説明しました。
- ◇ 今年度の整備工事についての地域住民への説明会を9月21日、22日に実施予定。日時や会場などが具体的に決まったら皆さんにお知らせします。
- 車両及び歩行者の動線計画には地域は反対である。現状では車のすれ違いがきつい。駅にはエスカレーターを設置してほしい。桜堂からの歩道の整備も必要。

6 「花できれいなまちづくり」について

- ◇ 緑化フェアを契機に始まった事業で、地域での植栽活動を支援しています。地域がクラブを組成して活動し、それぞれのエリアに合った活動を、相談しながら進めていきます。
- 老人クラブでは舞岡駅の駅前にプランターを数個置き、5～6人で水やりをしているが、水の入手が困難で苦労している。舞岡駅で水撒き用の水が汲めるようにしてほしい。

川上地区

1 防災対策について(秋葉小学校 小川先生)

- ◇ (小学生の学習資料として作成したパワーポイント資料に基づき講演) 震災などの記憶を風化させないためにも記録する、情報を残す、伝えるなど、「震災遺構」として3.11を「大切な人を想う日」と位置付けるような活動を行っています。小川先生の「震災を風化させない」という取組は平成30年4月4日(水)の岩手日報に取り上げられました。

2 各自治会・町内会の防災のとりまとめ(総括)と今後の課題

(1) 秋葉町町内会

- 28年度から3か年計画で消火栓の確認、初期消火訓練、防災マップ(10月末配布予定)作りを実施。要援護者への対応、川上小地域防災拠点訓練の充実、通学路ブロック塀調査が課題。

(2) 前田町町内会

- 「自分の命は自分で守る」を原則に、自治会・管理組合で備蓄管理はしていない。啓発としてポップ(お知らせ)を配布。多くの住民が参加するよう、焼き芋大会と合わせて訓練実施。

(3) 前田ハイツ自治会

- 居住者は階段の使用を通じてコミュニケーションが取れ、要援護対象者への声掛けも実施している。各家庭での備蓄等呼びかけてるとともに、家具転倒防止等の啓発を実施している。

(4) グリーンコーポ自治会

- フロア毎に防災任務分担があり発災時には分担表に基づき各班で動く。独自作成シート「無事です」を扉に張り出す。要援護者の救護体制が課題。

(5) グランドメゾン自治会

- 10名の防災役員では担い手の数としては不十分。自助中心のマニュアルを作成し、効果をシュミレーションした結果、組立トイレが使用できない等の課題があった。

3 総括コメント

- ◇ 訓練参加者を増やすため、まつり等のエッセンスとして訓練を取り込むのは良い方法です。また、マニュアルは作成して終わりではなく、検証し改めることも大事です。震災は今日、明日来るかもしれないと言う緊張感を持って地域と一丸となって取り組みます。

(意見交換等)

- 防災区民マップで土砂災害危険区域でない場所では発災しないという保証はあるのか。
- ◇ 想定外はありうる。地域の方々のまち歩きなどで得られた危険地域の情報を、近隣の方々にも周知していただきたい。
- 在宅者が防災拠点に水や食料を取りに行くことができるのか。
- ◇ 全ての家庭で発災の後、最低でも自助ということで3日間は備蓄してもらいます。その後在宅避難されている方々は、代表者が取りに来てもらうという事で進めています。

柏尾地区

1 県営柏陽台AP隣接緑地の整備について

- 県から市への移管に関し、整備状況やスケジュール等を県から報告して欲しい。
- ◇ 当該土地は多数の地権者や国有地との境界確定等の処理に時間を要した。確認等は平成29年度末に完了し、平成32年度に横浜市へ移管予定。昨年度には緑地全体の現況平面図を作成し、横浜市と移管区域と老朽設備の補修等について協議中。県はすべて引き取って欲しいがそうはいかず、細部を協議中。平成30年度は実施設計、工事は平成31・32年に実施予定。
- 今年度やる実施設計とは何か。
- ◇ 極力手を加えず、緑を残します。設計は、柵、階段の点検補修工事実施設計です。
- 閉鎖した県営柏尾アパートは、壊すか調整するか等、いつ頃どうなるのか。
- ◇ 建屋がある状態で、どうするか照会します。周囲の人に調整し、区域を確定します。早くて平成31年以降の手続き開始となります。壊すことはしません。
- ◇ 緑地の頂上にある供養塚に関し、存置か移設について地元からの声が欲しい。
- 供養塚保存会は有志の集まりで正式ではありません。県は日常的に地域に情報提供して欲しい。課題があるのは分かったので、日常的に三者で協議をしていきます。

2 国道不動坂交差点の横断歩道橋について

- 国道不動坂交差点の横断歩道橋について、2年前に国の補助金の見込みがつき、特例として設置する予定と説明があったが、現在の計画について聞きたい。
- ◇ 用地交渉、契約等の作業を進め、現在、用地交渉が数件残っています。交差点の形状について警察と協議をしています。歩道橋はバリアフリーの条件から50～60mの長さが必要となります。スケジュールは、整備が平成31～32年、歩道橋架設工事が平成32～33年です。
- 歩道橋は国道1号をまたぐだけの1か所か。駅に行く方はないのか。
- ◇ バリアフリー対応のため橋脚建設の土地が必要で、どれくらいの人が渡るのか、ということもあります。バス停付近の横断歩道も課題があると聞いており、警察と協議中です。
- 工事開始まで、北側のスロープ用地の空地を一時的に子供が待機する場所にできるか。
- ◇ 確認して、可能であれば対応していきたいと考えます。

3 防災関連の情報共有

- 防災拠点訓練を年1回実施し、今秋、発災時の運営マニュアルが完成。夜間の防災拠点訓練を予定しており、発災時初動体制や、区本部との連携等、必要な情報を提供願いたい。
- ◇ 冊子「防災よこはま」に基づき説明（キーワードは「自助」「共助」「公助」で減災へ）
- 避難勧告や避難指示の対象エリア別発令基準は。
- ◇ 気象庁の情報と連動した、あらかじめ決まっているエリアと、区でエリアを決めその都度現場を確認するエリアがあります。発令されると避難所を開設します。
- 防災拠点を開設すると区役所へ救援物資や医薬品等を要請するが、区役所側では体制が整っているか。風水害の場合、高齢者の避難開始のタイミングと、その周知方法は。
- ◇ 区役所では必ず本部が立ち上がっています。避難に時間を要する人には、特別警報の前に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、夜間にかかりそうな場合は、夕方に発令します。

東戸塚地区

1 平成30年度 戸塚区運営方針について

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

2 戸塚区制80周年に向けて

- ◇ 区制80周年に向けて、1月のオープニングセレモニーを皮切りに、31年度にかけて記念事業を実施することを説明し、機運を盛り上げるため地域にも協力を呼び掛けました。
- 年間を通じて地域のお知らせに80周年ロゴを入れるなど、地域でも盛り上げていくことを併せて呼び掛けました。

3 地区内団地活性化の取組「県営川上第一団地の現在、そして未来」について

- 川上第一団地県営アパート自治会の概況や課題、活性化プロジェクトの始動、移動支援、買物支援、「憩いの部屋」の開設、医療機関による個別訪問の実施、意識づくりについて等、医療機関や大学、企業と連携した取組などが発表され、その取組に関する戸塚区社会福祉協議会のコメントが発表されました。
- ◇ 地域包括ケアシステム戸塚区行動指針について、ハートプランとの関係、戸塚区の5つの重点取組等を説明しました。
- 川上第一団地県営アパートにはエレベーターは1棟にしか設置されていないとのことだが、増設できないのか。
- 県には毎回予算が無いと言われる。どこの棟もエレベーターは欲しい。土地は確保しているが、作ってもらえない。憩いの部屋については、ベランダを撤去し、車椅子が入れるようにしてほしいと県に要望している。
- 県で資金を積み立てて、5-10年先にエレベーターを設置するなどできないのか。住宅の環境を良くして、リフォームしないと若い人が来ない。若い人を入れて活性化を。どこかで高齢化の歯止めが必要と思う。
- 積み立ては、県営団地では難しい。空室が発生しているのので、そこを湘南医療大学の学生寮として活用してはどうかという話を近々県に申し入れる予定である。
- 憩いの部屋は、川上第一団地の住民しか使えないのか。
- 川上第一団地の住人以外でも自力で来られる人なら誰でも可。今まで、下倉田、名瀬、前田ハイツ、南の街からも来ている。

4 孤独死への対応について

- 地区内で発生した孤独死の事例を紹介し、要援護者支援名簿の作成や見守り推進事業を紹介。マンションでは見守り活動が難しいことからマンション側への地道な説明が必要であること、民生委員の見守りに関わる「お元気ですか」の配布等の活動内容を説明。「安心カード」は実物を配布し、配布対象者や利用方法を説明し、活用を呼び掛けました。
- ◇ 戸塚区高齢者見守り事業「みまもりネット」の事業概要や実施状況、協力事業者や機関、通報・相談の内容例や、夫々ケース毎の窓口、今年度の主な取組について説明しました。

平戸地区

1 防犯カメラ設置について具体的説明

- ◇ 防犯カメラの利便性や相談窓口等について説明し、戸塚警察署の生活安全課の話を紹介。
- 自治会内では個人宅にインターフォンなどの設置を増やすと良いとの意見もあります。できることならやって行きたい。

2 去る3月8日に実施した交通量調査の結果 3 桜木・平戸・弥生台線道路の建設見通し

- ◇ 調査地点ごとの歩行者数等について説明。道路建設の事業進捗率（44%）について説明。
- 2時間の間に約1000台が環2に向けて通り抜けるが、かなり多い。これをどう考えるか。
- ◇ 環2境木の渋滞を避けて権太坂から抜けて行く車が多いのではと考察しました。
- 山谷の道路用地は災害発生時の廃棄物置き場など別の使い道を考えていくべき。

4 朝夕通退勤時に平戸住宅自治会内を通過する二輪車の交通違反取締について

- 地域より、当日の時間当たり通過自転車数・歩行者数について報告。
- 交通標識は警察、カーブミラーはどこに相談すればよいか。
- ◇ カーブミラーに関しましては、土木事務所にご相談いただくことになります。

5 東戸塚駅の朝夕通勤時の混雑緩和策の対応について

- ◇ 東戸塚駅混雑緩和に関する取組について、これまでに実施した対策を報告。JR東日本に対し行った、①可動式ホーム柵の設置、②朝ピーク時間帯の湘南新宿ライン全列車停止、③東海道本線の停止などの働きかけを報告。JR東日本のホームドア整備について情報提供。

6 小動物(ハクビシン、アライグマ、リスなど)の対応について

- ◇ 有害鳥獣でも捕獲許可を取らないと捕獲できません。木造家屋の屋根裏に住み着き、悪臭や騒音被害が出ています。業者に依頼すると10万円位かかるが、横浜市では1年間有効の捕獲許可証を発行し、ワナの貸出をしているので、困った時は動物園課にご相談ください。
- 台湾リスが舞岡公園まで占拠していると聞いたが、現在はどこまで来ているのか。
- ◇ 3年前保土ヶ谷バイパスを超え、ほぼ横浜市内全域に生息していると思われます。

7 平成30年度戸塚区運営方針

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。
- 福祉保健課（高齢者関係）をもっとわかりやすくPRしてほしい。
- 転入者への自治会加入促進はどこでやっているか。
- ◇ 高齢者に関する事業を今後PRしていきます。加入促進は、地域振興課で行っています。

平戸平和台地区

1 安全安心について(警察講話)

- ◇ 生活安全課の業務紹介、区内の犯罪の発生状況、最近の特殊詐欺の様態や手口、警察への相談等について解説。
- 地域内でも空家が増え、庭の手入れが行き届かないため、樹木が歩道にはみ出し防犯灯を隠している。伐採できないか。
- ◇ 空家の草木が生い茂り困ってしまう状況が多く発生しています。樹木が道路にはみ出した部分は切れる場合もあるのでご相談ください。

2 家庭ゴミを集積所へ出すことが困難な方の課題解決方法について

- ◇ ヨコハマ3R夢プラン推進計画(2018~2021)の4年間に取り組む内容等を説明。戸塚区内の他の地域の取組事例として、北汲沢地域総合福祉活動委員会と深谷台地域運営委員会の2地域の活動事例を紹介し、ゴミ出しの支援に関しても無償では支援継続が難しいことや、組織的な活動として取り組むことが必要なことなどを紹介。
- 自分の田舎は地域指定ごみ袋を購入し出している。横浜市ではどう考えているのか。
- ◇ 個別収集はコストが高いという面もありますが、横浜市はまだ有料化は考えていません。
- お隣り同志が互いにお世話をするのが普通であった。関わるコミュニティが小さいと近隣関係も把握できるが、大きな都市だと難しいと感じている。エリアが広いと親近感がない。コミュニティの大きさ、お互いの顔の見える範囲で考えていくことが大切。

3 にこにこハウスの事業報告とこれからの地域の居場所

- 昨年度の地区懇談会において地域から提案が行われた居場所の設置について、昨年11月25日に「にこにこハウス」として開設の運びとなった経過が報告され、現在行っているカフェや「にこにこサロン」「にこにこきっず」「みんな集まれランチ会」「にこにこ相談室」「にこにこライブラリー」など様々な事業活動が紹介される。また、運営スタッフとして多くの皆様が参加いただけるよう呼びかけがあった。

4 平成30年度戸塚区運営方針

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

(意見交換等)

- 防災訓練の参加者が少ないので、皆様も参加を。戸塚消防署の指導のもと、消火器の取扱を学んだ上で消火訓練などを実践します。
- 高齢者の運転免許返納では、警察署まで行かなくとも近所で申請書を手に入れるとよい。
- 災害時に倒れた電柱のせいで緊急車両が進入できず被害が拡大する恐れがある。行政はNTTや東京電力などの企業とともに電柱の地中化に取り組むべき。

上矢部地区

1 地区内に消防団第四分団として活動していますが、地域との繋がりの上で、防災に向けてどのような取り組み及び活動をしていますか。消防署の鎮火活動や防災活動について

- ◇ 戸塚消防署消防団担当課長より消防署、消防団それぞれの組織や活動内容等を紹介。
- 地元消防団の方々から、第四分団の組織・活動等について紹介。現在の団員80人のうち、女性11人で活動しています。機材は倉庫にあり、毎月第2、第4日曜には放水訓練をしているので見学にいらして下さい。上矢部はあと10名程人員不足ですので、入団していただける方がいればぜひお願いします。

2 上矢部あおぞら公園の使用目的を拡大する課題は、数願書を以って申請中であるがその進捗を持って公園愛護会を設ける予定である。今後の対応について

- ◇ 上矢部あおぞら公園ではご要望のありました野球やサッカーなどを行うことはできません。また公園ではトイレが繰り返し壊され、現在は月に2回、夜間に公園のパトロールをしています。今後、どうやって見守っていけばよいか地域の方々とともに考えていきたい。

3 地域に開発されるマンションの連合町内会への自治会加入促進について行政の対応

- ◇ 戸塚区に転入してこられた方には、自治会町内会への加入を促す啓発物品等をお渡ししているほか、赤ちゃんが産まれた時には、見守り支援の一環として、訪問時に自治会への加入を促す取組も行っていますし、戸塚区のホームページでも加入の呼びかけを行っています。

4 平成30年度戸塚区運営方針

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

(意見交換等)

- 公園では球技は無理だと思う。4年前のワークショップで一部が完成すると聞いたが。
- この件については、9月末に皆様に説明の機会を設けていく予定です。
- 防災備蓄品の購入を自治会と管理組合が共同で行っても構わないのか。戸塚区内の自治会費は平均どのくらいでしょうか。
- ◇ 防災は住民全員が対象となりますので、大丈夫です。また、自治会費の平均額は正確な数値としては把握していませんが、おおよそ月200円～300円くらいであると聞いています。
- 火事の原因ナンバー1が放火との話がありましたが、対策はありますか。自分達が子供の頃は落ち葉を集め焚火をして焼き芋を焼いた時に火の怖さを教えられました。
- ◇ ゴミや燃えやすい物を外に置かないなど、きちんと整理することが大切です。地域でもパトロールを行って頂いていますし、消防でも強化していきます。保育園・幼稚園の防災教育の一環として、ダンスをしながら紙芝居で火の怖さを伝えるキッズ消防隊を本年度結成しました。
- 焼き芋やどんど焼きは文化であっても火を使うので、実施はなかなか難しいものがあります。消防出張所でも地域行事は把握しておられ、いろいろお手伝いいただいています。

名瀬地区

1 拠点防災訓練等のあり方について ～秋葉小学校地域拠点防災訓練の体験話～

- 名瀬第一町内会の秋葉小学校地域防災拠点運営委員より、同拠点における様々な取組・活動を紹介。（机上型訓練や避難所開設・運営訓練、備蓄庫の点検、運営委員会による開設・運営マニュアルの作成の取組等。）
また、今後の課題として、地域においては拠点開設を自分事に感じてもらう周知方法など3点が、行政においては特に生徒や保護者のかかわり方など学校と連携する方法など4点が提示されました。
- ◇ 区役所としての今後の対応や取組みなどを他区の実例も交えて紹介。
- 備蓄庫の整理方法には何か決まりがあるのか。
- ◇ 特に決まりはありませんが、日頃のサポートとして整理整頓を行い、誰にでも何がどこにあるかわかるようにしてください。マニュアルも備蓄庫の中に備え付けておきましょう。
- 防災拠点は隣の泉区になりますが、マニュアルは市均一か。
- ◇ マニュアル作りには、雛形がありますのでご活用ください。
- 隣の区なのでお互いに顔も知らないのので何とかしたい。要援護者リストには、障害者手帳などをお持ちの方もおられると思うが、要援護者であることを隠す人もいる。
- 横浜市の職員は拠点動員訓練はやっていないはずだ。また、毎年拠点担当の職員が変わる。
- ◇ なるべく動員訓練をするよう指示しています。また、担当の固定化については、今後の課題とします。

2 G30のその先へ ヨコハマ3R夢

- ◇ ヨコハマ3R夢プランの3つの目標の中で、各家庭で取り組めるごみの総量を減らす方法等を紹介し、地域の皆様に協力をお願いしました。（ごみの取り残し啓発、食品ロスの現状、冷蔵庫10-30運動、賞味期限と消費期限、食べ残しを減らす取組（食べきり協力店）、生ごみを出すときの水切り、土壌混合法 など）
- 集積場の維持管理を町内会できちんとしているのに町内会費を払わずにごみを出すルールも守らない人がいる。行政から場所を変える等、指導はできないのか。
- ◇ ごみ集積場の維持管理は町内会の方々にお願いしていますが、町内会に入っていない方もごみを出さない訳にはいきません。ごみの分別や出し方の指導は行ってまいりますが、どこに出すのかについては地域の皆様でお話し合いをお願いします。

3 平成30年度戸塚区運営方針

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

大正地区

1 認知症について

- 戸塚区認知症キャラバンメイト連絡会代表による認知症の方を支えていくために必要な配慮等に関する講演
 - ・ 高齢期による変化（身体的な変化、生活環境の変化 ほか）
 - ・ 認知症の定義
 - ・ 認知症の種類について（アルツハイマー型など4種類と若年性認知症）
 - ・ 認知症の症状について（記憶障害、見当識障害、理解・判断力の障害）
 - ・ 早期受診が大事な理由について（早期発見・診断・治療・ケアを始めることが大切）
 - ・ 予防についての考え方
 - ・ 認知症の方の気持ち（認知症の方に見えている世界を認める）
 - ・ 認知症の方とのコミュニケーション
 - ・ 家族の抱える課題（身体的ストレスと精神的ストレス）
 - ・ 家族の負担となる環境要因
 - ・ 生活での事例（ごみ出しが困難、買い物ができないなど様々な困難への支援）

2 大正地区社会福祉協議会の取組について(第3期ハートプラン)

- 大正地区社会福祉協議会会長による組織・活動などの紹介と、これからの地域における取組のあり方について懇談
 - ・ 大正地区社会福祉協議会の紹介（目的、組織・運営、他組織との関連、地域の現状と今後の見通し）
 - ・ 大正地区地区社協の取組（連合共催事業と活動団体支援、『大福まっぷ』の取組）
 - ・ 大正地区ハートプランの推進（地区社協活動との関係、地域活動の取組現状把握、住民意識調査）
 - ・ 大正地区社協が推進するハートプランの取組（現状把握と分析、ハートプランの普及・啓発、地域活動団体の後方支援）
 - ・ ハートプラン取組の進捗状況（レベル評価表）
 - ・ みんなで考えてみる
 - ※ わんわんパトロールへの取組（あいさつ運動のツールとして、災害による避難時のペットへの理解の醸成）
 - ※ 認知症になっても住み続けられる地域社会をみんなで作っていきましょう。
- 10月27日開催の「社会を明るくする運動（特殊詐欺を寸劇で考える）」のお知らせ。

汲沢地区

1 平成30年度戸塚区運営方針

- ◇ 「基本目標」「目標達成に向けた取組の考え方」「主な事業」「参考データ」を紹介。

2 スポーツ推進委員の活動紹介

- スポーツ推進委員は、年齢層や体力の有無にとらわれず気軽に楽しむことを主眼にしたスポーツの普及を始め様々な活動をしています。
 - ・ スポーツ推進委員とは
 - ・ スピード・ラダーゲッターの紹介
 - ・ スポーツ推進委員の制度について（委員の活動・身分・名称の変更、任期・年齢等、スポーツ・レクリエーションの福う啓発等にかかる様々な職務）
 - ・ 汲沢地区スポーツ推進委員連絡協議会について（組織構成、人数、定例会議）
 - ・ 主な参加行事・イベント（スポーツ推進委員研修会、横浜マラソン、横浜シーサイドトライアスロン、パークゴルフ大会、汲沢地区水泳教室）
 - ・ スポーツ推進委員だより

3 安全安心について(警察講話)

- ◇ 戸塚警察署生活安全課職員より、振り込め詐欺の様々な手口についての紹介があり、このような犯罪の撲滅のために留意すべき事項や各家庭における対処法などを紹介。
 - ・ 固定電話をナンバーディスプレイにしたり留守番電話にしておくのも効果的。
 - ・ 犯人は自分の声など形跡を残すことを嫌う。
 - ・ 空き巣（汲沢地区はほとんどない）対策としては、戸締りをしっかりすること。
 - ・ 最近多く見られる、最終訴訟のお知らせのハガキなどには絶対に連絡をしないこと。そのような物が届いたら、冷静に判断できる第三者、例えば、警察や隣人、近所の方にも、相談する・話すことが大切です。
- 振り込め詐欺の主犯は暴力団関係が多いのか。
- ◇ 捜査部門が違うので何とも言えませんが、そうであると聞いています。警察署一階の住民相談係で、振り込め詐欺に関するご相談もできます。
- 大坂上停留所付近から戸塚駅に向かう側道のカヤの草刈りをしてほしい。過去には年に2回伐採してくれていたが今は1回。バスもよけて走る。

1 第3期とつかハートプラン地区別計画中間期の課題抽出とその解決策の討議

- 今年度は第3期とつかハートプランの中間年です。2月に各単位町内会、団体に依頼して、上倉田地区のハートプランの取組の重点項目等について課題を挙げてもらいました。これを3月10日の幹部会でそれぞれの取組状況と課題としてまとめました。

本日は、取組課題の項目別にグループに分かれて、その課題に本日の意見交換で出された皆様の考え方などを追加し、キーワードごとに纏め、課題を絞り込み、重点課題を抽出します。そして、出された意見をグループで振り返り発表します。なお、地区懇談会で検討した課題についてのアイデア出しは、8月に検討会議で実施することとなりました。

Aグループ テーマ:災害対策

- ・まず安否確認を第一に掲げた。ライフラインについては、止まったときにどうするか。
- ・各家庭は3日間は自分達で確保できるように、各自治会町内会でまとめていく。
- ・一人ひとりの意識が低いという課題も出た。
- ・日頃防災訓練を行っているが、いざという時に動けるか心配という声あった。

Bグループ テーマ:安全安心なまちづくり

- ・5つの絞り込みを行った。
- ① 安全安心のためのパトロールの担い手が減っている。 ② 自治会活動に若い人が入ってこない、担い手の問題は他グループの課題と共通。 ③ 安心安全への組織の考え方が各自治会・町内会で違うので、考え方を統一して進めるべきではないか。 ④ 若い人に入ってもらいたい、PRが不足。 ⑤ ハード面では、道路に段差等課題があり、解決しないと、高齢者にとって安心安全につながらない。
- ・解決は先だが、次のテーマに進んでいきたい。

Cグループ テーマ:担い手育成

- ・担い手の育成という目標を掲げて討議。
- ・問題点は高齢者と青少年のハンデをいかに統一して一緒に行動させるか、という点。
- ・行事を開催するには何が必要か。
- ・お土産つき旅行が良い、等の意見が出た。
- ・いかに意思の疎通を図るかの議論に終始した。

Dグループ テーマ:交流のある町

- ・老人会、子供会、連合それぞれ悩みは、担い手が育たないこと。
- ・楽しみたいが、役員はやりたくない。子供会や老人会の役員なり手がない。
- ・支援活動、サークル等は活発なので、いろいろな方向からのつながりが大事。
- ・それぞれの悩みを同じ共通課題にして解決していけば、それぞれのベクトルが合ってくるのではないか。
- ・交流のある場所をどんどんつくって、たて・よこ・ななめのつながりを広げていけば、そんな楽しいことなら俺も少しやってやろうかという気になってくれる人が出てくると期待したい。

下倉田地区

1 高齢者と子供たちの将来の安全・安心に対する施策について

- ◇ 「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた戸塚区行動指針」を用いて説明。
- この冊子には元気な高齢者の視点がない。このシステムに、警察は入っていないのか。
- ◇ 警察、消防、区役所は、ケアプラザも含め、安否確認や虐待対応などで連携しています。
- 費用の安い公的老人ホームは、入所待ちの時間が長いと聞いていた。最近はどうか。
- ◇ 入所待ち期間の目標は12か月です。相談は区役所でも受け付けています。
- 民生委員が対象者の死亡を知らず訪問することがある。行政から民生委員に情報が欲しい。
- ◇ 住民台帳のチェック等で確認していますが、どのようにお伝えするかは検討します。
- ◇ 「STOP! こども虐待～地域みんなでこどもを守ろう!～」を用いて説明。
- 東京都の事件は、自治体間の連携が悪かった。他県との連携の仕組みはできているか。
- ◇ 住所を転々とするケースも多く、必要なケースは、ワーカーの顔つなぎをしています。
- よく見る「こども110番」は、どういう意味か、どう活用されているのか。
- 各小学校地域でPTAと学校が相談して、保護者が届けていました。その家に飛び込めば、学校等に連絡が行きます。豊田小学校、小菅ヶ谷小学校では行っていました。

2 空き家の現況と対策について

- ◇ 「空家に関する相談窓口のご案内」を用いて説明。
- 小学校近くの空家にスズメバチの巣があったが、区は所有者を教えてくれなかった。こどももの安全にかかわる時や放火の危険がある時等は、地域への情報提供を考慮して欲しい。
- ◇ 個人情報の保護の観点から、情報提供は難しいです。緊急時対応の条例を整備している都市もあり、横浜市でも条例制定の必要性について関係部局で意見交換しています。
- 地域へ情報提供するか、区が直接対応するのか、緊急時の対応を検討して欲しい。
- 対応可否の判断基準が相談側と窓口側で異なる。町内にある空家の存在に困っている。
- ◇ 区も相談を受ければ何とかしたいと思うが、空家は人の財産なので、対応は難しいです。

3 環状3号線、4号線の工事進捗度と開通時期について

- ◇ 「環状3号線平面図・縦断図」と「よこかんみなみ54号」を用いて説明。
- 環状3号4号が完成すると、大船停車場矢部線や生活道路に車が流れ、渋滞や事故が増える。影響を受けないように考えて欲しい。
- ◇ 県道大船停車場矢部線は一部拡幅に向け改良事業中です。一部は用地交渉中ですが難航しています。
- 環状3号線の国道1号との交差点は、2年後は接続完了するのか。
- ◇ 整備目標は平成32年です、用地は買収できたので工事は進めます。現在は途切れている所もつなげていきます。環状4号整備に併せ平成32年完成予定です。

1 戸塚区矢部町字池田466番地1外先道路の交通対策について

- この生活道路は柏尾川沿いにあり、日常は通学路及び買い物の道路として利用しています。ブリヂストン敷地内における社宅の移築や、イオン跡地における店舗の縮小新築と大型マンション建設に伴い交通量が増え、アンダーパスの抜け道として利用されることも考えられます。そこで今後、事故を未然に防止する対策として、歩行者が安全に通行できるような対策への協力を要望をしたいと思います。
- 国道1号が渋滞時には迂回路となり、交通量が増えていると思われる。ブリヂストンに対してすぐに期待はできないが検討して行きたい。警察にもアプローチして行くつもりです。
- ブリヂストン敷地内に保育園、社宅99戸で駐車場102台、青年会館190戸で駐車場92台が整備される、格段と交通量や歩行者が増える可能性がある。道路は直角に交わり、新プロムナード側から出て来る際とても見にくい。
- イオン横に完成するマンションも駐車スペースが239台。アンダーパスに行く際の信号では、タイミングにより3台くらいしか行かない。
- ブリヂストンの社宅に住む方々の学区は東戸塚小だと思ふ。そうであれば、通学路で一番安全だと思われるのは遊歩道だ。ただ人通りが少ないので女の子は危険。
- 社宅や大型マンションなどの建設は行政と連携していかなくていいのでしょうか。
- ◇ 新しい建築物が計画されている時は申請が上がってきます。今回の場合は、既存の建物の敷地内移転ということなので新設にはあたらないと思います。
- 現状、道路幅も狭いので柏尾川をまたいで何か広げられる方法はないのか、道路を一方通行にしてもらえないか。
- 行政側はできないことが多い気がします。またブリヂストンも協力してくれるかどうかの話し1本だと思います。車が増え、これでよいのかとは思いますが、今の法律上、柏尾川に橋をつけることは無理です。
- 町内会としてはイオンに計画を聞きたい。
- 以前、戸塚第三地区で日立に敷地を供出していただき歩道を拡張してもらいたいと訴えてきた例もあり、今後も粘り強く話し合うべきである。